

楽しく子育て！

～香川県立図書館 子育て支援コーナー通信～

司書のオススメ本 ～11月の新着図書から～

『スマホ・チルドレンもめごとSOS』
富樫 康明／著 批評社／刊 2018.9

本書には、最近の子どもたちのスマホの利用で起こるさまざまなトラブル事例のほか、トラブルから子どもを守るための対策や法律の基礎知識などが掲載されています。
著者によると、多発するトラブルの中で注意が必要なのは、SNSなどに掲載した「画像」や「動画」の中の自分や他人の肖像だとのこと。肖像の画像には、「肖像権」や「個人情報保護法」などをはじめとする複雑な法的権利関係があるのだそうです。また、個人のSNSなどから違法行為を見つけて訴訟を起こすクレーマーも出現しているとのこと。SNSなどに個人の情報や意見を掲載することは、誰にでも簡単にできてしまいます。でも、それがとても多くの危険をはらんでいるということを親が子どもにきちんと教えることの必要性を強く感じます。
スマホ世代のお子さんのいる親御さんは、ぜひ本書を手にとってみてください。



『あゆみんとスー』
廣川 あゆみ, 廣川 進／著 主婦と生活社／刊 2018.10

本書は、徳島県の自然豊かな山村で暮らす廣川夫妻と子どもたちの日々の暮らしを綴ったエッセイです。廣川家の生活は「自給自足と物々交換が基本」で、狩猟で捕ったものや野菜を作って暮らしており、調理はガスではなく薪ストーブで行います。小学生の子どもたちは、ゲーム、テレビを与えられてない分、勉強に、遊びに好奇心いっぱいになっています。
今の時代は、コスパ、時短などから生まれるゆとりが幸せにつながると考えがちですが、それに逆らうような廣川家の手間暇かけた丁寧な暮らしも、とても幸せそうに見えます。
廣川家のやり方をすべて真似ることはできないにしても、自分や家族の幸せの指標を少し見直してみようかと思える一冊です。

< 11月の新着図書～ほかにもこんな図書が入りました～ > () は棚番号と内容です。

(支援1-1 働きながら子育て)

・『パパとママの育児戦略』
ファザリング・ジャパン／著 repicbook／刊

(支援2-1 子どもと住む家)

・『時間もお金もかけない!ほったら家事』
Ayaka／著 宝島社／刊

(支援2-3 子どもの健康)

・『アレルギーっ子ママが気づいた親子のハッピーチョイス!』
岸 紅子／著 かざひの文庫／刊

(支援3-3 子育てのヒント)

・『こころと頭を同時に伸ばすAI時代の子育て』
井岡 由実／著 実務教育出版／刊

(支援4-1 お父さんも子育て)

・『最強の「お父さん道」 子どもが自慢したいパパになる』
向谷 匡史／著 新泉社／刊

(支援4-4 お付き合い)

・『おとなママの会話術 いい関係をきずくことば選びと使い方』
辰巳 渚／文 岩崎書店／刊

(支援5-3 お片付け)

・『男の子がひとりのできる「片づけ」』
中村 佳子／著 KADOKAWA／刊

(支援5-4 体力づくり)

・『読むだけでどんな運動もできる子になる!』
水口 高志／著 すばる舎／刊

●県立図書館の子育て支援コーナーの図書は、県内のお近くの市町図書館等から取り寄せができます。詳しくはお近くの公共図書館へご相談ください。

季節のお役立ち本～お片づけの本～

今年も残すところ、一カ月と少しになりましたね。毎年、年末が近くなると「すっきりした部屋で新年を迎えろ！」と部屋の片づけをするものの、瞬く間に子どもに散らかされ、そのまま年を越しています。結局、私のその場しのぎの片づけ方にも原因があるのだなあと反省しています。毎回子どもを叱るより、子どもが自主的に片づけできるように工夫して、習慣づければ楽しんだらと思う今日この頃です。

今回は、子どもに片づけの習慣が身につく本を紹介します。

『小学生からはじめる整理整頓が身につく本 セルフマネジメント』 山崎 紅／著 日経BP社／刊 2015.11



本書は、なかよし二人組のレイとマコが先生に教わりながら、整理整頓について学んで行くという設定で、小学生が気軽に読めるよう工夫して書かれています。

まず、第1章で整理整頓はどういうことなのかを学び、やる気になったところで、第2章で要らないものを捨てる判断方法を学び、第3章で物の分け方、並べ方のルールを考えるとというように順序よく整理整頓を学ぶことが出来ます。そして、最終章では、整理整頓した箇所を定期的に見直す方法も学べます。

親御さんが、整理整頓についての本を読んで、子どもに一方的に教えるよりも、子ども向きに書かれた本で、親子で整理整頓を学ぶ方が効果的ではないでしょうか。

<子育て支援コーナー棚番号5-3の棚には、 子どもに片づけの習慣が身につく本があります。>

- ・『できる子になる！0歳からのお手伝い』「月刊クーヨン」編集部／編 クレヨンハウス／刊
- ・『子どもがどんどん整理整頓したくなる!お片づけ帖』カール友波／著 永岡書店／刊
- ・『すみれちゃんのお片づけ12カ月』渡辺 ゆき／文 小林 キユウ／写真 岩崎書店／刊
- ・『辰巳渚の頭のいい子が育つ「お手伝いの習慣」面倒くさがる子をやる気にさせる言葉がけのツボ』辰巳 渚／著 主婦の友社／刊
- ・『お手伝い至上主義!「自分で決めてできる」子どもが育つ』三谷 宏治／著 プレジデント社／刊

<子育て支援担当より>

先日、小学校三年になる息子が学校行事で疲れて、宿題をせずうたた寝していました。そこで、「宿題残っているよ。起きてやろうね。」と声をかけました。いつものパターンなら、息子は「眠い!もう宿題はできん!」と怒り出すのかと思ったのですが、よろよろと立ち上がり、机に向かいました。でも、まだものすごく眠そうです。そこで、おでこに冷却シートを貼ってあげると、眠気と闘いながらも、必死で宿題をやり始めました。

これまでの息子は、何をしても、すぐあきらめてしまうところがあり、見ていて、とても歯がゆい思いをしていました。でも、こうして目の前で、宿題をやり遂げようとしている姿を見て、とても頼もしく感じました。そして、息子の成績の良し悪しは、もう気にならなくなっている自分に気がきました。これからは、自分自身のペースで進んでいく姿を今までより少し離れたところから見守っていきたいと思っています。